

# 富士通製サーバ「PRIMERGY」と ATEN KVM ドロワー CL5708/CL5716 の接続検証結果報告書

ATEN ジャパン 営業技術課

## 1. 検証目的

PRIMERGY シリーズと引き合いが多い ATEN KVM ドロワーシリーズとの組合せによる動作検証を実施致しました。

## 2. 検証期間

2022年4月15日～4月28日



## 3. 検証装置

型番	製品概要
CL5708 *検証実機	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 17インチ LCD 一体型 8ポート KVM ドロワー</li> <li>➤ デイジーチェーン接続対応 - KVM スイッチの追加増設は最大 31 台まで、接続可能コンピューターは最大 256 台まで対応</li> <li>➤ デュアルインターフェース - コンピューターおよびコンソールは、PS/2、USB の両インターフェースに対応</li> </ul>
CL5716 *同一ボード製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 17インチ LCD 一体型 16ポート KVM ドロワー</li> <li>➤ デイジーチェーン接続対応 - KVM スイッチの追加増設は最大 31 台まで、接続可能コンピューターは最大 512 台まで対応</li> <li>➤ デュアルインターフェース - コンピューターおよびコンソールは、PS/2、USB の両インターフェースに対応</li> </ul>

#### 4. サーバ構成

型番	OS Ver.
RX2530 M5	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard Windows Server 2022 Standard RedHat Enterprise Linux v.7.9 RedHat Enterprise Linux v.8.3
RX2540 M5	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard Windows Server 2022 Standard RedHat Enterprise Linux v.7.9 RedHat Enterprise Linux v.8.3
RX2530 M6	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard *Windows Server 2022 には未対応為、未検証 RedHat Enterprise Linux v.7.9 RedHat Enterprise Linux v.8.3
RX2540 M6	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard *Windows Server 2022 には未対応為、未検証 RedHat Enterprise Linux v.7.9 RedHat Enterprise Linux v.8.3

## 5. 検証項目

項目	概要
A) コールドスタート、ホットスタート、リブート、それぞれの動作確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コールドスタート： サーバ側シャットダウン後に接続されている全てのケーブル類(電源ケーブル含む)を切り離し、数分経過後に全てのケーブル類を接続し、電源 ON にする。</li> <li>・ホットスタート： サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウン後に電源 ON にする。</li> <li>・リブート： サーバ側に対して、リブート動作を実行する。</li> </ul>
B) ドロワー側日本語キーボードの動作確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS 側キーボード認識を確認する。</li> <li>・テキストエディタを起動し、各キーを押下し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認する。</li> <li>*ドロワー側が送信するキーコードが正しいことは確認済み</li> </ul>
C) ドロワー側タッチパットの動作確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS 側マウス認識を確認する。</li> <li>・四隅と中央部分にへのポインター動きと左クリック右クリックの各動作を確認する。</li> </ul>
D) LCD 画面の表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS 側ディスプレイ認識を確認する。</li> <li>・OS 側と KVM ドロワの双方が共通しサポートする各解像度の表示を確認する。</li> </ul>
E) KVM 切替え動作確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 台のサーバと 1 台の PC を接続し、切替え動作を確認する。</li> <li>・切替え後の画面表示とキーボード/マウスの入力を確認する。</li> </ul>

## 6. 接続方法

ドロワーとサーバ間は専用 KVM ケーブル(2L-5202U)を使用



## 7. 検証結果

項目	型番	結果
A) コールドスタート、ホットスタート、リブート、それぞれの動作確認	RX2530 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2530 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
B) ドロワー側日本語キーボードの動作確認	RX2530 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2530 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
C) ドロワー側タッチパットの動作確認	RX2530 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2530 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
D) LCD 画面の表示	RX2530 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2530 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
E) KVM 切替え動作確認	RX2530 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M5	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2530 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認
	RX2540 M6	各 OS Ver.にて正常動作を確認

本検証内容に対する問い合わせ先：

ATEN ジャパン株式会社

東日本営業部 営業技術課 Tel:03-3255-5810 Mail:ajpresales@atenjapan.jp

西日本営業部 営業技術課 Tel:06-6229-5810 Mail:ajpresales@atenjapan.jp

※補足資料

設定  
ディスプレイ

色

夜間モード  
オフ

Windows HD Color

拡大縮小とレイアウト  
100% (推奨)

解像度

- 1280 × 1024 (推奨)
- 1152 × 864
- 1024 × 768
- 800 × 600

Windows Server 2019 解像度設定よりドローワーがサポートする解像度選択が可能

デバイス マネージャー

WIN-JV6TGR0929T

- IDE ATA/ATAPI コントローラー
- キーボード
  - HID キーボード デバイス
  - HID キーボード デバイス
- コンピューター
- システム デバイス
- ソフトウェア デバイス
- ディスク ドライブ
- ディスプレイ アダプター
  - Matrox G200e (Emulex) WDDM 2.0
- ネットワーク アダプター
- ヒューマン インターフェイス デバイス
- ほかの デバイス
- マウスとそのほかのポインティング デバイス
  - HID 準拠 マウス
  - HID 準拠 マウス
  - HID 準拠 マウス
- モニター
  - 汎用 PnP モニター
- ユニバーサル シリアル バス コントローラー

Windows Server 2019 デバイスマネージャよりドローワーのキーボード・マウス・モニターを正常認識

デバイス

Displays

KVM 19"

向き: 横方向

解像度: 1280 × 1024 (5 : 4)

リフレッシュレート

夜間モード(N)

RedHat Enterprise Linux v.8.3 解像度設定よりドローワーがサポートする解像度選択が可能

- 1280 × 1024 (5 : 4)
- 1280 × 960 (4 : 3)
- 1152 × 864 (4 : 3)
- 1024 × 768 (4 : 3)
- 832 × 624 (4 : 3)
- 800 × 600 (4 : 3)